

# この手らと

第6号平成28年9月

## まことの保育



盆おどり

鹿児島竜谷学園和光幼稚園

園長 川口公男

## 行動（形）は心をつくります



本園は、仏さまに手を合せて、園の一日が始まります。食事のときも、手を合せて食前の言葉、食後の言葉を言います。

鹿大の大坪治彦先生が「シートベルトは何のためにすると思いますか」と問われたことがありました。「自分の命をまもるためではないですか」と答えますと「それだけではないのですよ。シートベルトをする行動が、『安全運転をしようという心』をつくってくれるんですよ」と話されたことが印象深く私の心に残っています。つまり、**行動は「心」をつくってくれるということなんです。**



きちんと正坐して、仏さまに手を合せて礼拝するという行動（形）、子どもたちは、その意味を言葉では表現できないのですが、偉大な存在を感じたり、畏敬の念や感謝の心等が育ったりしています。また、日々、海の、大地の無数の生き物のいのちを食べて生きていること、多くのいのちが自分の中でともに生きていることなどについて職員等から話を聞くことで、食前・食後の言葉の意味を知り、感謝の心をもって食事するようになります。こうして、子どもたちは、仏さまの多くのみ教えを聞くことにより、自他のいのちの尊さに目覚めるとともに、いろいろな苦難を乗り越えていける強い心もまた育っていきます。

行動（形）を育て、心をつくり、心を育て行動（形）をつくるという教育理念は、本園の教育理念の基盤としております。

## 新規職員を採用



羽生綾子栄養士兼調理員を採用いたしました。これまで申木野市や霧島市の学校給食センターや保育園の栄養士として勤務しております。これからは、田中千里、抜崎百合子、末吉千夏子の3名の職員とともに4名で協力して、子どもたちの成長の糧としての給食を提供してくれるものと思っております。

## 本園の教育・保育のねらい

本園は、国の方針に基づいて、幼稚園が終わるまでの育ちの姿を次の10項目として全職員の総力を結集して取り組んでおります。

- ☆**健康な心と体** 見通しをもって健康で安全な生活をつくれるようにする。
- ☆**自立心** 自分でしなければならないことを、自覚を持って行動するようになる。
- ☆**協同性** 考えを共有し、実現に向けて協力しながらやり遂げるようになる。
- ☆**道徳性・規範意識の芽ばえ** 相手の立場に立って行動し、決まりを守る。
- ☆**社会生活との関わり** 情報に基づき判断し、社会とのつながりの意識を持つ。
- ☆**思考力の芽生え** 自ら判断しようとしたり、考えをよりよくしようとしたりできる。
- ☆**自然との関わり・生命尊重** 好奇心や探究心を言葉で表現し、自然への愛着・畏敬の念を持つ。
- ☆**数量・図形、文字等への関心・感覚** 数量・図形、文字への関心・感覚が高まるようになる。
- ☆**言葉による伝え合い** 絵本や物語に親しみ、言葉や表現を身に付ける。
- ☆**豊かな感性と表現** 感じたことを自分で表現する意欲を楽しむようになる。

